

都留市の歴史を感じる

城下町つるをみあろす

お城山

へ

お城山は、標高571m、周囲3.5kmの独立した山です。

かつて、お城山にあった勝山城には、江戸時代にお茶壺道中で運ばれた将軍家献上用のお茶を夏の間保管した茶蔵がありました。当時、京都から江戸へとお茶を運んだ行列の面影を、現在のお茶壺道中（毎年10月末の産業祭りで実施）で偲ぶことができます。

また、お城山には今もなお、曲輪（くるわ）・堀・石垣・土塁などの遺構が残っています。

のんびりした時間を楽しみながら、歴史に思いを馳せてみてはいかがでしょう・・・。



お城山でみつけよう！勝山城の遺跡

お城山の登山道には、かつてのお城の名残をいくつも見ることができます。

登山道を150mほど「内堀」と刻まれた石碑があります。これは城の西側の守りを固めるために造られた空堀です。一見、自然の窪みのようですが、実は人の手によって造られたものなのです。

そして、その先に平坦に開けた「川棚見張台」があります。ここは城の西側の監視のために造られた場所です。その名のとおり、ここから谷村を一望することができる場所なので、一休みにオススメです。

ここからは少しきつい坂が続き、左側に「三の丸」、

前方に「二の丸」と続きます。「二の丸」から「本丸」である頂上につづく登山道正面に、きれいに面取りされた石垣をみることができます。今もなお、石垣の多くは土中に埋もれていると言われています。

そして・・・

その先はあなたの目で確かめてください。宝さがしの気分で・・・。



お城山は都留市の桜の名所

4月上旬、お城山山頂付近は桜のピンクで染まります。

お城山に桜が咲くと「春になったなあ～♪」と地元の人たちはワクワクした気持ちになります。子どもたちも、学校や保育園でピクニックに訪れ、桜が咲くこの時期はお城山が一年で一番賑わう季節です。

お弁当を持って、水筒を持って、家族や友達とぜひ出かけてみてください。頂上の広場でシートを広げてゴロンと横たわれば、都留市の春を満喫できること間違いなしです！



勝山城？谷村城？

勝山城は文禄3年（1593）に浅野左衛門佐氏重によって築城されたと「甲斐国誌」に記されています。その頃、甲斐国には江戸の徳川家康に対する備えとして、豊臣秀吉の一族浅野長政が配属されていましたが、その家老の浅野左衛門佐氏重は甲府城の前城となる勝山城を築城し、郡内地域の守りに当たったといいます。

この勝山城は居館である谷村城（現在の谷村第一小学校）の要害城（非常の場合に立て籠もある城）としての役割を担っていたといわれ、勝山城と谷村城とは桂川を挟んで内橋でつながっていました。

現代風に言えば、谷村城が「母屋」で勝山城が「離れ」といったところでしょうか・・・。



都留市のおみやげにどうぞ



くかりんとう饅頭
■1個 120円
■御菓子司 すがや
都留市中央3-4-3
Tel 0554-43-2673



く木の実せんべい
■5枚入り 500円
■桑屋
都留市田原1-1-8
Tel 0554-43-3769



くお菓子とうふ
■5個入り 1,050円
■ならや
都留市中央3-4-7
Tel 0554-43-6307